

85 「小石丸」の人工飼料育を利用した飼育技術体系

福島県蚕業試験場養蚕部・平成9～12年度蚕業試験場年報

1 部門名 蚕糸一育蚕一作業技術 分類コード 09-02-29000000

2 担当者 名倉明夫・瓜田章二

3 要旨

小石丸は、繭糸繊度が比較的細く、その生糸は力学特性、吸湿性、耐久性や染色性が非常に優れ、さらに豊かな風合いを持つなど、高付加価値化に向けて期待が高い。そこで、飼育作業の計画的進行、飼育労力の削減、蚕作の安定化等の大きな有利性のある人工飼料育を基本とした小石丸の飼育技術体系について検討した。

(1) 稚蚕(1～3齢)人工飼料育技術の確立

経過および給餌量(蚕種1箱当たり)は、1齢;4日, 0.7kg、2齢;4日, 2.8kg、3齢;3.3日, 8.6kgであった。なお、適用する飼料は原蚕種用飼料とした。

(2) 1～3齢・4齢人工飼料育技術の確立

4齢期の経過日数は5日、給餌量は35.2kgであった。なお、適用する飼料は蒸煮飼料とした。 ※稚蚕期は(1)によって取り扱う。

(3) 収繭技術の確立

乾繭用毛羽取り機(K社製)によって毛羽取りを行うことで、つぶれ繭・よごれ繭が減少して、上繭割合が向上した。